

# 新しい左京区基本計画づくり



ニュースレター 第9号

発行日 平成22年7月22日  
発行者 左京区役所区民部総務課  
Tel 771-4235

## 新左京区基本計画 素案への意見募集を行っています！

左京区役所では、平成13年に策定した左京区基本計画が平成22年に計画期間を終了するため、新左京区基本計画の策定に取り組んでいます。

策定に向けては、計画素案の作成前の段階から、各地域の代表等で構成する「左京区住民円卓会議」において意見交換を実施するとともに、アンケート方式の意見募集を実施し、多くの区民の皆様から、様々な御意見をいただきました。また、学識経験者や地域で活動されている方などからなる「次代の左京まちづくり会議」において議論を重ねてきました。

この度、新左京区基本計画 素案が完成しましたので、区民の皆様からご意見を募集しています。

### 1 新左京区基本計画 素案の内容

- (1) 新左京区基本計画の策定について  
計画の目的、期間、特徴
- (2) 新左京区基本計画の目指すところ  
～自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ  
「豊かなところ」を大切に伝えます～  
(美しく豊かな自然環境、悠久の歴史、守り育まれてきた貴重な文化を左京区の魅力としてまとめ、自然、歴史、文化を大切にする「豊かなところ」を次世代へ引き継ぐことを10年後に向けての目標としたもの)
- (3) 新左京区基本計画の概要  
ア まちづくりの取組指針を「美しい自然のまちづくり」、  
「歴史・文化・学問のまちづくり」、「ひとにやさしい  
温もりのまちづくり」の大きく3つに区分  
イ 取組内容は、「区民一人ひとりができること」「区民と  
行政・事業者・大学等が協働ですること」、「行政（区  
役所・市役所）がすること」の3つの取組主体に区分
- (4) 新左京区基本計画策定の経緯  
左京区の未来をつくる区民会議の開催状況等



### 2 新左京区基本計画 素案への意見募集について

- (1) 提出方法  
新左京区基本計画 素案 概要版・意見募集用紙 に挟み込んだ「新左京区基本計画 素案への意見募集用紙」にご記入いただき、郵便又はFAXでお送りください。左京区役所ホームページからもお寄せいただけます。  
ア 郵 送：〒606-8511 左京区役所 総務課  
イ FAX：075-771-6900  
ウ ホームページ：http://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/
- (2) 提出期限  
7月31日（土）
- (3) 配布場所  
新左京区基本計画素案の 概要版・意見募集用紙 及び 本冊 は、左京区役所、岩倉・八瀬・大原・静市・花背・久多出張所等で配布し、左京区役所ホームページにも掲載しています。
- (4) その他  
いただいたご意見（個人に関する情報等を除く）は公開する場合があります。また、ご意見に対する個別の回答は致しませんので、ご了承ください。

## ◆ 京都市基本計画第1次案について

- これからの京都にとって「環境」は重要なキーワードであり、第1次案に掲げる5つの京都の未来像においても、「環境共生と低炭素のまち」と「環境と社会に貢献する産業が育つまち」の2つが環境に関連するものである。
- 若い世代で構成されるU（アンダー）35会議のメンバーから、仕事と生活のバランスを調和させ、人生の充実を図り、家庭や地域社会、市民活動にかかわる時間が持てるような生活を実現する「ワークライフバランス」の考え方を、盛り込むべきであるとの意見も出ている。
- 新計画では、特に優先的に取り組むべき事項として10の重点戦略を掲げており、『個性溢れる地域づくり戦略』では、地下鉄沿線をはじめとする地域の活性化についてまとめている。左京区では岡崎地域がこの戦略に位置づけられており、左京区民の皆様からも意見をいただきたい。また、北山地域を京都の文化芸術ゾーンとして、どう活性化していくかも左京区の課題である。
- 「歩いて楽しいまち・京都戦略」は、人と公共交通を優先する新しい交通体系づくりを目指すものであるが、左京区においては、公共交通をどうするのか、高齢者や学生の方がどう考えているかを、とりわけ自転車の問題も含めて考えていくことが大切である。
- 計画案には、二酸化炭素を減らす観点はあるが、酸素を増やすという積極的な観点が欠けているように思われる。山林整備を進め、若木を増やすことで低炭素のまちづくりを実現するような取組を進めることが必要ではないか。
- 農林業は環境へ貢献するとともに、文化といった面で生活に深くかかわる重要な要素を持っている。新しい基本計画では、京都の市街地に関連する部分は重点的に書かれているが、北部山間地域や京北地域のイメージがあまり描かれていないように感じる。農林業が農林業従事者の生産の場としてだけでなく、一般市民にとってもくらしや文化との関連の中で大変重要であることを、全体の中でうまく関係づけながら伝えていけないだろうか。



## ◆ 新左京区基本計画 素案の意見募集（パブリック・コメント）について

- 新左京区基本計画の目指すところとしては、物質的に豊かなくらしというよりも、豊かな「こころ」を大切に伝えていくことを、わかりやすく指し示すことが重要だと思う。
- 現在子育てをしている人の多くは、非常に忙しい生活を送っている。こうした生活に追われている世代の区民にとっては、左京区のことについてゆっくりと考える時間がないというのが現実ではないか。自分の意見を持つことは重要だが、実際にはそれをなかなか実行できないことが大きな課題ではないだろうか。
- 現在の計画素案は抽象的であるため、一般の区民にとっては、意見を出しにくいように思う。計画内容に関するだけでなく、より身近な生活に関することや今現在困っている問題などを書いてくださいといった問い掛けをすることで、もう少しは意見を出しやすくなるのではないかと。
- 京都市基本計画の意見募集用冊子のデザインは、U35会議のメンバーが作成したものである。新左京区基本計画についても、若い世代の委員の方から意見をもらうなどして、わかりやすく親しみやすいデザインの冊子を作成してはどうか。

